

# 知財の広場

## 注目の知財キーワード「MPDP 理論」

「MPDP 理論」とは、株式会社エンジニア(本社:大阪)の代表取締役社長である高崎 充弘氏が編み出されたヒット商品を生み出す法則です。

高崎社長は、ネジ穴が潰れたネジ(なめたネジ)を簡単に回せるプライヤーを開発され、年間1万本売れば大ヒットと言われる工具業界において、2002 年の発売開始からの類型販売本数で 400 万本以上を達成されています。その過程において、ヒット商品を生み出すには4つの要素、すなわちマーケティング(Marketing)、パテント(Patent)、デザイン(Design)、プロモーション(Promotion)に集約されることを見出され、これを MPDP 理論と名付けられました。中小企業が活躍するには、顧客の潜在ニーズを把握するための調査活動(M)、知的財産権による保護(P)、プロモーションを意識したデザイン開発(D)、さらに製品の特徴を伝える販促活動(P)を意識した開発が重要であると提唱されています。さらに中小企業において最大のボトルネックは P:パテントのプロセスであり、社内知財レベル向上のため社員に知財検定の受験や、J-PlatPat による先行技術調査を活用した研究活動を進められています。

そんな高崎社長のお話を聞いていただける機会として、INPIT 滋賀県知財総合支援窓口主催で『滋賀県知財活用シンポジウム～知財を活用した経営の実践～』を開催します(日時:7月2日(火)13 時 30 分～16 時 30 分、会場:草津市立市民交流プラザ大会議室)。併せて滋賀県を代表する企業である株式会社日吉の村田弘司社長から知財活用の取り組みの事例をご紹介します、両社長と三雲弁理士(日本弁理士会関西会滋賀地区会会長)、当窓口のナビゲーターとのパネルディスカッションを行います。知財を活用した経営とはどのようなことを考えて頂く機会として、是非ご参加ください。

お申し込みは、一般社団法人滋賀県発明協会の HP (<http://www.jiii-shiga.jp/>) に案内書を掲載していますので、そちらを参照ください。

知財ナビゲーター 田中 和男

令和元年度  
INPIT 滋賀県知財総合支援窓口  
(独立行政法人人工・知能・先端技術振興機構 滋賀県知財総合支援窓口)

### 滋賀県知財活用シンポジウム 「知財を活用した経営の実践」

知財活用は重要な経営資源であり、適切に活用することで競争優位性を確立できます。知財を活用した経営とはどのようなことか、知財活用による経営戦略の構築について学びます。

**無料  
定員先着  
80名**

**7/2 (火) 13:30～16:30**  
(受付13:00)

会場:草津市立市民交流プラザ大会議室  
フェリエ南草津 5 階

●基調講演 13:35～14:50

テーマ:モノづくり企業を活性化させる4つの秘訣  
～エンゲルSGTの経験から得られたMPDP理論～  
モノづくり企業は知財活用による競争優位性を確立する必要があります。MPDP理論(マーケティング、パテント、デザイン、プロモーション)を活用することで、中小企業における知財活用へのハードルを下げ、経営戦略の構築をサポートします。

講師:株式会社エンジニア 高崎 充弘 氏

【経歴】  
1975 年 神戸市生まれ  
1998 年 滋賀県立大学工学部卒業  
1999 年 株式会社エンジニア入社  
2004 年 代表取締役社長に就任

●県内企業からの事例紹介 15:00～15:30

テーマ:知的財産の権利化と標準化の取り組みについて  
～中小企業の環境サービス産業において～  
株式会社日吉は知財戦略を軸に環境サービス業で成長を遂げ、世界的に知財活用による競争優位性を確立しました。その取り組みの経験と今後の展望について紹介いたします。

講師:株式会社日吉 代表取締役社長 村田 弘司 氏

●パネルディスカッション 15:35～16:25

テーマ:一緒に考えよう、知財の活用  
基調講演や事例紹介の内容を踏まえ、異なる立場や意見を持つ企業代表者、専門家、窓口担当者による知財活用に関する議論や企業課題の共有を行います。

モデレーター:  
三雲弁理士事務所 三雲 正孝 氏  
パネリスト:  
株式会社エンジニア 代表取締役社長 高崎 充弘 氏  
株式会社日吉 代表取締役社長 村田 弘司 氏  
日本弁理士会関西会滋賀地区会会長 三雲 正孝 氏  
INPIT 滋賀県知財総合支援窓口 知財ナビゲーター 田中 和男 氏

お問い合わせ先: INPIT 滋賀県知財総合支援窓口 TEL 077-558-3443

お申し込みは無料です